

令和元年10月10日号（第201回）

# 阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、「助産師外来のご紹介」をテーマに、産婦人科外来の水谷 扶美恵助産師よりお話しさせていただきます。

## 当院の助産師外来について

当院では平成27年の産科病棟再開後、順調に分娩件数が増加し、昨年は約150人の可愛い赤ちゃんが産声をあげました。更なる地域周産期医療の充実と助産師の専門性を生かすため、令和元年5月より「助産師外来」を開設しています。



## 助産師外来とは

助産師外来とは「助産師が行う妊婦健診」です。妊娠24～34週の順調に経過している妊婦さんを対象に超音波検査や内診等の診察、体重管理や乳房管理などの保健指導を行います。完全予約制でゆっくり時間をかけ、医師にはちょっと聞きづらいなと思うことも同性の助産師ならではの何でも相談しやすい外来を心がけて行っています。妊婦さんのご希望があれば、ご主人・お子様・お母様・お父様、どなたでも同席の外来受診が可能です。

## 超音波検査について

超音波検査は痛みもなく、妊婦さんや赤ちゃんにとって侵襲の少ない検査です。助産師外来で行う超音波検査は、赤ちゃんの成長をみていくだけでなく、4D超音波で赤ちゃんの顔の撮影や写真のプレゼントも行っています。おなかの中の赤ちゃんは私たちが想像

する以上に表情豊かです。大あくびをしたり、薄目を開けてこちらを見ていたり、しかめっ面をしていたり、おくちを尖らせていたり…。1枚の写真を後から見るのと、リアルタイムで赤ちゃんの様子を見るのでは全然違います。お時間が合えば是非、ご家族皆さんで助産師外来に来ていただきたいと思います。

ご主人はじめ家族の方は、自分のおなかが大きくなったり、胎動を感じることはできません。そのため身体の変化や赤ちゃんの成長を妊婦さんご本人より実感として感じにくいのが現状です。育児は大勢の人の協力が必要です。ご家族みんなで育児に関わっていくためにも当院の助産師外来をご利用いただけたら幸いです。

### 産婦人科医師、小児科医師や助産師、看護師を中心としての多職種連携

順調に経過していても、いつハイリスクとなるかわからないのが妊娠です。妊娠中の不安は消えては生まれ…シャボン玉のようです。妊婦さんの不安が少しでも解消され、安心してお産に臨めるように総合病院のメリットを活かし様々な専門家がサポートしていきます。

#### 助産師外来のご案内

内容：助産師による妊婦健診

料金：医師による妊婦健診と同額

日時：毎週金曜日 9：00～11：30、14：00～16：30

(完全予約制)

お問い合わせ先：

産婦人科外来 助産師外来担当 水谷



(右写真) 超音波診断装置

阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)